

のアルバム

プロ選手と楽しく交流！

野洲小学校6年生が、滋賀のプロバスケットボールチーム、滋賀レイクスターズの出前授業を受けました。

選手が登場すると、自分たちよりはるかに大きな体を前に、歓声が上がりました。

授業では、気さくな選手と触れ合いながらドリブルとパスを練習し、ドリブルリレーやシュート競争では夢中になりボールを追いかけていました。

質問コーナーでは、選手から「勉強でも運動でも夢中になれるものを一生懸命頑張れば何にでもなれる。」という言葉をもらいました。

それぞれの夢をめざして、夢中になれるものに一生懸命取り組んでください。

▼1月12日 野洲小学校



▼12月26日 市役所



若い力で野洲の未来を考えます

滋賀県立守山中学校3年1組の小川大智さん、川上理さん、多田海祐さん、田村まなみさん、牧野智慧さん、古田航己さんが市へ政策提言を行うため市役所を訪問しました。

自分たちの力で調査・研究した住民税、道路整備、救急体制について、政策提言を受けた市長のコメントを真剣な表情で聞いていました。

意見交換は、とても和やかな雰囲気の中で質問なども積極的に行われました。新しい発見もあり「へー、知らなかった!」といった声も聞かれ、まちづくりについてより理解を深めてもらうことができました。

これからの野洲を担っていく若い皆さんの積極的な意見や提案をお待ちしています!

100歳おめでとう

100歳の誕生日を迎えた岩崎ハマさん(安治)を山仲市長がお祝いに訪問しました。

大正5年12月12日生まれのハマさんは、約10年前まで畑仕事を手作業で行うなど体力には自信があります。

この日は、ご家族で祝福されていました。いつまでもお元気で。

▼12月13日 安治



歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

あやめ 菖蒲の成り立ち —琵琶湖岸の新田開発—

博物館では2月4日(土)～3月12日(日)にかけて、古文書展「^{はんのうはんぎょ}半農半漁の村 菖蒲 —琵琶湖のほとりに生きる—」(休館日：月曜日)を開催します。本展は、古文書をひも解きながら、琵琶湖岸・旧野洲川北流河口部に位置する本市菖蒲の歴史を紹介するものです。展示会では主に菖蒲の新田開発と漁業の歴史について紹介しますが、今回は琵琶湖岸の新田開発と菖蒲の成り立ちについて紹介します。

江戸時代後期、琵琶湖岸を新田として開発する計画が試みられ、天保年間(1830～44)には幕府が主導し、江戸の商人である大久保今助・貞之助父子が開発の請負人となって、計画が進められたとされています。同時期に野洲郡でも琵琶湖岸の新田開発が進められており、「大久保新田」と称された新田の開発が展開していたことが、本市須原に残る文書からも確認できます。

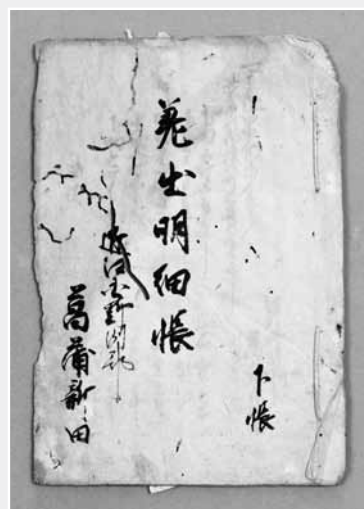
菖蒲は、この新田開発が推進されていた天保期頃に成立した集落だと考えられています。その根拠となっているのが、菖蒲に鎮座する^{あきつばた}杜若神社の由緒です。同社の祭神は、天保9年(1838)に勧請されたと伝わることから、それ以前より集落が成立していたと考えられています。

今回、これを裏付ける史料が、発見されました。それが天保15年(1844)2月付けの「^{さしだしめいさいちよう}差出明細帳」です。これは、現在の菖蒲自治会の要覧に相当するもので、当時の菖蒲集落の役人が同地の状況を記録しています。

これによると、開発された菖蒲新田の^{けんち}石高(米の生産高)などを把握するために実施された調査、検地が、確認できる限り、古くは天保5年(1834)に行われていたことがわかります。

したがって、菖蒲が集落として成立したのは天保5年以前ということになり、これ以前より菖蒲の地が新田として開発され、人びとが居住し始めていたといえます。

2月18日(土)午後2時から博物館で開催する市史・郷土史学習会では、「菖蒲の成り立ちと^{なりわい}生業 —琵琶湖岸の新田開発と漁業—」と題して、古文書から明らかとなった菖蒲の歴史についてお話しさせていただきますので、ぜひご参加ください。(博物館学芸員 齊藤慶一)



さしだしめいさいちよう
差出明細帳 (当館蔵)
天保15年(1844)



歩いて野洲の魅力再発見！

中里・中主地区老人クラブの皆さんが健康ウォーキング事業として新野洲クリーンセンターの見学と施設の周辺を散策されました。

この事業は、60～80代のメンバーが平成24年から毎月野洲の歴史や文化の学習、発見をテーマに市内各地をウォーキングするものです。

当日は57人が参加し、新クリーンセンターの紹介DVDで施設の仕組みを学んだ後、実際に稼動する設備など皆さん興味深そうに見学されていました。

見学後は、健康づくりのため、各自のペースで色づいた自然の中をウォーキングしました。

市民の力で野洲の元気を作り、文化を大切にす活動がより活発に行われるよう市も支援していきます。

▼12月15日 野洲クリーンセンター



元気にウォーキングする皆さん

《お詫びと訂正》

1月号の「市のスポーツ発展に貢献」記事中、氏名に誤りがありましたので訂正してお詫びします。

(正) 小川さんは長年、… (誤) 小山さんは長年、…